



100%バイオマス原料を含有したエコごみ袋を 導入します！

～脱炭素と脱プラスチック～

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、海洋プラスチック問題に対する取組みとして、行内で使用しているごみ袋を「100%バイオマス原料を含有したエコごみ袋」（原料開発：西野金陵株式会社）に順次切り替えてまいりますのでお知らせします。

今回の取組みは、「百十四銀行SDGs宣言」に基づき環境に配慮した持続可能な地域社会の実現に向けた取組みの一環です。

2022年6月より「99%再生材ごみ袋」を導入し脱炭素に取り組んでまいりましたが、100%バイオマス原料を含有したエコごみ袋を導入することで、これまでの脱炭素に加え、プラスチック削減も推進してまいります。

今後も環境負荷軽減のため、日常から社会全体の問題を考える環境を作ることで役職員のSDGs意識の醸成を図ってまいります。

記

◆「100%バイオマス原料」について

- ・トウモロコシの澱粉（コーンスターチ）とグリセリン（パーム油）で組成されており、100%バイオマス（日本有機資源協会 No. 200007）の原料^{※1}です。
プラスチックの代替が可能となり、様々な種類のプラスチックとブレンド成型が可能です。
生分解性（海洋、土壌での分解）や、ガスバリア性（酸素や水蒸気、臭いなど透過しにくさ）も有しています。

◆効果について

今回導入するごみ袋は、100%バイオマス原料を25%含有しています。
石油由来のプラスチック使用比率を下げた製造されており、25%のプラスチック削減、CO2排出量削減が可能となります。
本取組みは、環境省の「プラスチック・スマート」キャンペーン^{※2}においても発信します。

※2 環境省が、世界的な海洋プラスチック問題の解決に向けて、個人・自治体・NGO・企業・研究機関など幅広い主体が連携協働して取組みを進めることを後押ししているものです。

※1ペレット 100% でんぷん

